一般社団法人 栃木県作業療法士会
令和４年　理事会議事録（第５回）

開催日時：2022 年 12 月 23 日(金）19：07 ～ 23:00
開催場所：宇都宮市茂原一丁目 1021 番地 7 （ZOOM 配信）
出席理事：仲田、谷口、坂田、渡邉、板倉、須藤、横山、和久井、松川、山口、有馬、高村、岩瀬
全理事 14 名中、13 名出席　　（全員ウェブ会議システムによる出席）
出席監事：黒渕　　（全員ウェブ会議システムによる出席）
他：久米、信末、寺尾、山﨑、上岡、須藤（ま）、野尻、稲村、玉野
欠席：友利、松崎

順不同、敬称略

議案
会長挨拶
本日の理事会はウェブ会議システム（ZOOM)を利用して行う旨を述べ、双方が画像、音声を確認したところ異常がなく、出席理事数が定款所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

Ⅰ.報告事項
【会長】
1) 2022 年度第 3 回 47 都道府県委員会報告について
開催日：12 月 10 日（土）9：00～15：00
出席者：仲田会長・岩瀬理事・山口理事
議事録参照

2) 2022 年度第 4 回 47 都道府県委員会について
3 月 11 日（土）オンライン→3 月 11 日（土）13 時～12 日（日）15 時のハイブリッド開催へ変更
会長は現地集合、オブザーバーはオンラインでの参加
→ オブザーバー参加予定は松川理事・板倉理事・有馬理事

【事務局】
3) 事務員の時給変更について
最低賃金改定により、10 月 1 日より栃木県の最低賃金が 882 円から 913 円に変更となった。
それに伴い、10 月 1 日より事務員の時給を 900 円から 913 円に変更した。

4) 理事会議題予定について
R4 第 5 回（12 月開催）　：組織図（案）、 定款施行規則業務分掌の提示
顧問税理士及び会計システムの決定
休会制度に関する概要、運用方法の確定
令和 5 年度事業計画及び予算案について（報告可能な部より報告）
第 6 回（1 月）　：令和 5 年度事業計画及び予算案について各部より報告
予算委員会
第 7 回（2 月）　：令和 5 年度予算案の確定
会計に関する定款変更（案）の提示
第 8 回（3 月）　：令和 4 年度事業報告・決算報告 、 定期総会議案の確定
定款・（定款施行規則）の追記
R5 第 1 回（4 月)　：定期総会議案書の確認、役員の推薦（理事会案の掲載）
※理事会開催日は 4 月 17 日以降にする
第 2 回（5 月)　：総会後、新理事参加（顔合わせ）

5) 「介護ロボット等新しいテクノロジーの現場導入に関する情報共有会議」について　（添付資料参照）
とちぎノーマライゼーション研究会より、標記会議の参加について打診あり。
当研究会は厚生労働省からの委託で「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム」事業を実施している。会議の要旨は本事業に関する関連団体からの要望や地域の状況について情報共有を図り、地域ネットワーク（協議会）の構築を目的としたものである。
→ 住宅改修福祉用具委員会の須藤委員長に先方との連絡窓口になっていただくよう依頼済み

【総務部】

6) 倫理部門からの報告について

倫理委員会開催

日時　　：令和４年 11 月 11 日

参加者　：仲田会長、松崎監事、須藤理事、渡邊理事、友利理事

協議内容：・士会 HP への掲載文書について

・倫理事案報告・申し出書の内容について

・倫理事案の処理の流れについて

→ HP 掲載、倫理事案報告・申し出書の追加については広報部へ依頼中

【会員管理部】

7) 会員管理および会費納入状況について（12 月 13 日時点）

・ 会員数　　：815 名

未入会　　：１名　協会員だが士会非加入者 ： 15 名　士会員だが協会非加入者 ： 10 名

入会者　　：70 名（新規 58 名、再入会 12 名）　退会者 ： 10 名　　強制退会者 ： 20 名、内 3 名再入会

会費納入　：令和元年度分　　1 名　（5,000 円）

令和 2 年度分　　1 名　（8,000 円）

令和 3 年度分　　3 名　（24,000 円）

令和 4 年度分　622 名　（4,976,000 円）

領収証　　：619 名分発行

・現在の会費納入率は 76%。未納会員は 193 名となっている。

【地域リハビリテーション推進部】

8）会議について

・11/1　：第二回部門会議　担当理事、副理事、部門長、ブロック長の計 8 名参加

・11/17：県北ブロック×認知症ケア対策推進部門合同会議

副理事、部門長、副部門長、ブロック長、支部長、部員の計 7 名参加

・12/11：地域包括ケア部門 25 支部長・副支部長オープン会議　理事、副理事、部門長、副部門長、ブロック長、副ブロック長、支部長、副支部長の計 19 名+聴講者 5 名参加

9）研修について

・10/30　：日本作業療法士協会地域包括ケアシステム推進委員会「地域支援事業に資する人材育成研修」

参加者　：久米副理事、寺田部門長（選任者）、横山副会長、大藤・菊地・伊是名ブロック長（聴講者）6 名

久米副理事が栃木県作業療法士会・地域包括ケア部門の取組を先進事例として発表（添付資料参照）

・11/14　：訪問作業療法に関する研修会「訪問リハビリにおけるＯＴの多職種連携との役割分担」参加者 22 名

・11/23　：認知症アップデート研修「認知症疾患医療センターの役割、事例報告」参加者 14 名

・12/11　：地域支援事業に資する人材育成研修（現任者）「ＯＴができるまちづくりへの取り組み」参加者 19 名

【教育部】

10）研修会開催報告について

・第 2 回現職者選択研修：身体障害領域

日時　　：令和 4 年 11 月 27 日（日）9：20～16：30

講師　　：小賀野操氏（国際医療福祉大学）

河内朋恵氏（上都賀総合病院）

岩瀬直樹氏（新宇都宮リハビリテーション病院）

久米真菜美氏（尾形医院）

参加者　：50 名（内他県士会 2 名）

・令和 4 年度　第 1 回事例検討報告会

日時　　：令和 4 年 12 月 2 日（金）19：00～20：30

参加者　：14 名（内発表者：2 名）

・第 2 回臨床実習指導者講習会

日時　　：12 月 3 日（土）、4 日（日）　1 日目　9：20～18：50　　2 日目　8：45～16：05

事務局　：国際医療福祉大学（谷口氏、関森氏、野﨑氏）

参加者　：27 名（1 名欠席）

・MTDLP　Step up 研修

日時　　：令和 4 年 12 月 9 日（金）19：00～20：40

参加者　：12 名

11）研修会開催予定について
・第 3 回現職者共通研修
日時：令和 5 年 1 月 8 日（日）9：30～13：40
講師：「日本と世界の作業療法の動向」　小賀野操　氏（国際医療福祉大学）
「実践のための作業療法研究」　関森英伸　氏（国際医療福祉大学）
「事例報告と事例研究」　野﨑智仁　氏（国際医療福祉大学）
・第 2 回事例検討報告会
日時：令和 5 年 2 月 1 日（水）19：00～20：30

12）士会裁量の情報収集について
令和 4 年度士会裁量の準備をすすめる。各理事は、自身の管理する部局委員会の部員に関する情報収集（会員番号・漢字氏名）を行う。（協会の会員ポータルサイトに登録されている漢字氏名を必ず確認のこと）
部員以外で県士会への協力をしていただいた会員がいる場合は、部員とともに情報の記載を行うこと。
提出先：教育部渡邉　　期限：2 月中旬

【学術部】
13）研修会開催報告について
・第 2 回身体障害分野
日　時　：令和 4 年 10 月 31 日（月）
テーマ　：脳卒中片麻痺患者の電気刺激療法～当院での取組を交えて～
講　師　：横尾一徳氏（リハビリテーション翼の舎病院）
参加者　：24 名
・第 2 回精神障害分野
日　時　：令和 4 年 11 月 24 日（月）
テーマ　：作業活動・プログラムの情報交換会～コロナ禍でのみんなの創意工夫～
講　師　：学術部精神障害分野部員
参加者　：19 名
・第 2 回発達障害分野
日　時　：令和 4 年 12 月 11 日（日）
テーマ　：発達障害領域における作業療法士の在り方
講　師　：岩崎清隆氏（NPO 法人ぷねうま群馬＠群馬県）

14）研修会開催予定について
・第 2 回全領域対象
日　時　：令和 5 年 2 月 or3 月初旬
テーマ　：治療と仕事の両立支援について
講　師　：高橋由紀子氏（栃木県産業保健総合支援センター：保健師）

15）その他
・オンデマンド配信実施
第 1 回全領域対象の研修会をオンデマンド配信中。（12 月 19 日～1 月 11 日まで）
動画編集は Windows フォトレガシを使用、配信は vimeo を利用。どちらも操作はシンプル。
vimeo 本契約の際は、14,400 円／年がクレジット決済にて必要。今回は vimeo 無料期間（30 日間）を利用。

【事業部】
16）全国障害者スポーツ大会における活動報告について
・10/28~31 の 4 日間、延べ 32 名（実 15 名）の士会員が運営に協力参加。3 競技（フライングディスク・ボーリン
グ・バレーボール）のコンディショニングルーム運営実施。
・ストレッチ・マッサージ・テーピング・アイシング等を実施。3 競技合計 225 名の施術を実施した。
・事前準備から大会までの流れを、来年度実施予定の鹿児島県士会に情報提供していく。

17）障害福祉に関する座談会の開催予定について
日時　：令和 4 年 12 月 27 日（火）　20：30～22：00
テーマ：就労支援

【福利厚生部】
18）新人会員への記念品贈呈について
9 月～11 月の新入会員 8 名への記念品発送済み

【とちぎリハビリテーションフォーラム準備委員会】
19）会議開催報告について
実施日　　：令和 4 年 10 月 24 日（月）、令和 4 年 12 月 19 日（月）
内容　　：テーマ・講師の決定、ポスター案の作成、日程調整など実施。
テーマ　　：認知症～自分のため家族のために知ってほしいこと～
特別講演　：「地域を支える認知症医療」～鑑別診断と治療、認知症疾患医療センターの役割～
講師　　：佐藤　勇人　氏　（医療法人 緑会　佐藤病院）
シンポジウム：「私たちができること・やるべきこと・ 協力すること」
～それぞれの立場から地域共生社会の実現に向けて～
シンポジスト：佐藤　勇人　氏：医師（医療法人 緑会　佐藤病院）
上祐　学　　氏：作業療法士（菅間記念病院）
友政　真弓　氏：介護支援専門員 （だいな紫塚居宅介護支援センター）
田﨑　裕美　氏：保健師（宇都宮市高齢福祉課）
【栃木県作業療法学会実行委員会】
20）県学会開催報告について
令和 4 年 11 月 20 日（日）オンラインで開催
参加者　：87 名（県外 9 名、他職種・学生 5 名）
内容　　：口述発表 5 題、ポスター発表 5 題、特別講演 2 題

Ⅱ.審議事項
【会長】
1) 新組織図（案）について
→ 別紙参照

2) 業務分掌（案）および職務分掌（案）について（定款施行規則）
→ 別紙参照

【事務局】
3) 事務員の時給変更について
最低賃金改定に伴い、令和 5 年 4 月より時給 950 円に変更することを検討したい。
→ 承認

4) 令和 5 年度選挙管理委員長の選任及び役員選挙について
選挙管理委員会は役員以外の正会員によって構成されるため、前任の友利氏に代わり下記の者を推薦したい。
守矢 光太郎（新上三川病院所属　総務部会計担当）
→ 承認

会長　　1 名
副会長　5 名
理事　　10 名以上 20 名以内
監事　　1 名以上

選挙公示	令和 5 年 3 月 15 日（文書の郵送、士会 HP 上に掲載）
立候補及び推薦候補の受付	令和 5 年 4 月 1 日～4 月 10 日
立候補者の公示	令和 5 年 4 月 20 日(士会 HP 上に掲載)
投票日	令和 5 年 5 月 20 日（総会日）

これらの流れは、定款施行規則に則り行う。
参考（定款施行規則より抜粋）
・投票日の 60 日前に選挙期日、役員の定数及び立候補の受付期間を公示し、立候補を受付けなければならない。
・立候補の締切日は投票日の 40 日前とする
役員選挙の案内を会員に広く広報するため複数の媒体を使用することが望まれる。郵送費用を許容し、会員所属施設及び自宅会員宛に文書で通知を行うことを考えている。上記のタイムスケジュールで進めて良いか。
→ 承認

5) 令和 5 年度 定期総会の開催について
開催方式　：①オンライン または　②会場
開催日　　：令和 5 年 5 月 20 日（土）もしくは 5 月 21 日（日）
開催会場　：対面の場合はパルティ（研修室 301 収容人数 100 人）で検討　利用料金 9:00 ～ 12:00 5,360 円　→ 令和 5 年 5 月 20 日（土）パルティでの開催で準備を行う

【対面開催の中止基準について】
・開催２週間前の県内感染レベルに応じて判断する。
・県内感染レベル３以上（対策を強化すべきレベル）でオンライン開催に変更。

決算報告書	4 月 15 日 事務局必着
議案書発送	4 月 24 日(4/26 着予定)
議決権行使書返送期日	5 月 12 日 必着
議事録発送	6 月下旬に郵送

→承認

6) 新入会員オリエンテーションについて
開催予定日・開催方式・内容について
→ 継続審議

7) 会計システムの選定について（添付資料参照）
令和５年度より複式簿記に移行すること、税理士と顧問契約を締結することについては前理事会にて承認。
懸案となっていた会計ソフト及び税理士の選定については費用対効果を考慮した結果、以下の通りで進めたい。
税理士はウチノ税理士法人と顧問契約を締結
費用　：記帳代行料として、月額 20,000 円（税込み 264,000 円／年）
　　記帳代行での契約となるため、士会での会計ソフトの購入は必要なし。
　　記帳件数が大幅に変更にならない限り、費用は据え置き
その他　：定款変更（会計）に関する助言は無償にて対応いただける。
　　来年度顧問契約を締結することを前提に、本年度より会計規定の作成に関与いただく。
→ 承認

今後の会計管理に関して（案）
① 年２回の会計報告 から 四半期毎の報告にする（4-6 月、7-9 月、10-12 月、1-2 月、3 月）
　帳簿と残高の解離を解消するため。
② 各部の会計担当者が現金出納帳に記帳し、局長が最終確認した後に領収証と併せて税理士事務所へ郵送
③ 税理士が会計ソフトに入力後に領収証を財務部に返送（提出から 1.5 ヶ月程度のタイムラグあり）
　その後、財務部にて承認作業（領収証と出納帳の突合、残高確認）を行い、領収証を保管
　※勘定項目の仕訳及び会計ソフトへの入力作業、財務諸表作成は税理士に依頼するため財務での対応は不要
④ 予算案作成は従来通り。決算報告書の作成は不要（税理士に委託）
⑤ 残高及び支払履歴の確認を容易にするため、支払いは口座からの振込みを基本にする
⑥ 会計規定を作成し、局長及び会計担当者に周知を図る

8) 宇都宮市障がい支援区分認定審査会の委員選出について
令和 5 年 3 月 31 日付けで任期満了に伴い、下記の者を推薦したい。
1　阿久津 卓　氏　（宇都宮リハビリテーション病院）
2　亀山　明子 氏　（宇都宮西が丘病院）
3　大橋　由美子 氏（マロニエ医療福祉専門学校）
→ 承認

9) 宇都宮市介護認定審査会の委員選出について
令和 5 年 3 月 31 日付けで任期満了に伴い、下記の者を推薦したい。
1　岩瀬　直樹　氏　（新宇都宮リハビリテーション病院）
2　坂田　尚昭　氏　（新上三川病院）
3　有馬　正人　氏　（曙訪問看護ステーション）

4　渡邉　真一　氏　（白澤病院）
5　高橋　強　　氏　（JCHO うつのみや病院附属介護老人保健施設）
6　伊澤　仁美　氏　（自宅会員）
7　寺尾　博幸　氏　（新上三川病院）
→ 承認

【会員管理部】
10) 休会制度について
①令和 5 年度から休会制度を導入するまでの流れについて
・本理事会にて、定款および定款施行規則に追記する文言、休会制度開始までの流れを決定
・令和 5 年度総会で定款変更について承認を得る。承認されれば総会後に定款施行規則に正式に追記
・総会終了後、HP やメーリングリストにて休会制度に関する規定について掲載。併せて休会フォームを設置。
・総会議事録に合わせて、休会制度についての文書を同封
・8 月末までを令和 5 年度の受付期間とし、休会を希望する会員はフォームより申請
・9 月の理事会にて承認→令和 5 年度末まで休会
→ 承認　　休会届の文言は修正していく
②令和 6 年度以降における休会の流れについて
・令和 6 年 1 月 31 日までに、休会を希望する会員はフォームより休会申請
・令和 6 年 2～3 月の理事会にて、休会希望会員を呈示、承認
・令和 6 年 4 月 1 日から休会
→ 承認
③休会者の管理方法について
・会員名簿に「休会」ページを設け、「令和○年 4 月 1 日～令和△年 3 月 31 日まで」と記載
・会員全員名簿上では網掛けにするなどして区別化する
→ 承認

【財務部】
11) 昨年度の学術部精神分野の残金処理について
今年度の雑収入として年度末の決算時に計上する形でよいか？
→ 承認

12) 次年度の予算案の〆切について
令和 5 年 1 月 13 日締切でよいか？
→ 最終締め切り 1 月 20 日とし、27 日に予算委員会開催

【教育部】
13) 臨床実習指導者講習会について
臨床実習指導者講習会は、年 2 回の開催で進めてきたが、次年度より年 1 回の開催としたい。
上記理由としては、①栃木県として必要な指導者の数が充足していること、②本年の参加人数（約 70 名）が入会者数（新規入会者）とほぼ同等数であることを理由とする。次年度は、定員を 60 名とし開催を行う予定である。
→ 承認

【学術部】
14) 第 2 回老年期障害分野別研修会について
コロナ第 8 波の影響や年度末の開催であることから講師が決まらず中止を検討しているがよろしいか。
→ 内容を検討し、計画通りに実施できるよう調整する

【令和 5 年度事業計画案について】
15）事業計画内容の調整と検討について
→継続審議
→各部・委員会の事業計画案を 1 月 27 日理事会に再提出

【その他】
16）1 月の理事会および予算委員会について
→令和 5 年 1 月 27 日（金）19 時～にて予定